

週刊物流 (平成29年6月9日)

渋滞の実態把握へ

海コン部会 パト日報を利用

兵ト協海上コンテナ

を打ち出した。

部会（佐賀里隆之部会長）は5月23日、兵庫県トラック総合会館で役員会を開き、ターミナル前での待機時間改善に向けた活動について、役員会で対策を協議するため渋滞の実態を細かく把握する方針

渋滞の実態把握には

阪神港海上コンテナ協会（小西保美会長）が現在実施している港湾地区のパトロールの記録が役立つと判断、同協会に日報の記載項目見直しを求め、日報の結果を毎月、部会に提

出するよう要望する。部会では日報をもとに役員会で待機時間緩和対策を協議したい考えだ。

過積載・過重量改善に向けた活動については、7月以降の役員会で話し合おうが、必要に応じて荷主への広報を行う方針だ。